2025 年度学生便覧訂正

2025年5月

【第1表】領域および保育内容の指導法に関する科目 ①P210

【誤】

- Ⅲ. 教育職員免許状取得に関する科目認定一覧
- 1. 幼稚園

【第1表】領域及び保育内容の指導法に関する科目(幼稚園一種免許状)

	科目区分	単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
	71 1 12 1/2	早11.30	用以仅来行口	必修	選択	腹形刀伝
領域	健康		乳幼児と健康	1		
に関	人間関係	20	乳幼児と人間関係	1		
する専	環境		乳幼児と環境	1		
門的	言葉		乳幼児と言葉	1		
事項	表現		乳幼児と表現(音楽) 乳幼児と表現(造形)	1 1		
(情幸	保育内容の指導法 保機器及び教材の活用を含む。)		保育内容研究(健康 I) 保育内容研究(健康 II) 保育内容研究(人間関係) 保育内容研究(環境) 保育内容研究(音楽表現) 保育内容研究(音楽表現) 保育内容研究(児童文化と言葉)	2 2 2 2 2 2 2		

- 注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。 注2. 「大学が独自に設定する科目」として<u>14単位</u>の修得が必要となるが、同科目は2単位しか開設しないため、 【第2表】の科目及び「領域及び保育内容の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数で これを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「領域及び保育内容の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間 等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が51単位

【正】 Ⅲ. 教育職員免許状取得に関する科目認定一覧

1. 幼稚園

【第1表】領域及び保育内容の指導法に関する科目(幼稚園一種免許状)

	71 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			単位	立数	B # 4 4
	科目区分	単位数	開設授業科目	必修	選択	履修方法
領域に関い	健康		乳幼児と健康	1		
	人間関係		乳幼児と人間関係	1		
する専	環境		乳幼児と環境	1		
, 門 的	言葉		乳幼児と言葉	1		
事項	表現	20	乳幼児と表現(音楽) 乳幼児と表現(造形)	1 1		
			保育内容研究(健康I)	2		
			保育内容研究(健康Ⅱ)	2		
			保育内容研究(人間関係)	2		
(情報	保育内容の指導法 最機器及び教材の活用を含む。)		保育内容研究(環境)	2		
(IFI +	(情報機器及び教権の活用を含む。)		保育内容研究 (造形表現)	2		
			保育内容研究 (音楽表現)	2		
			保育内容研究 (児童文化と言葉)	2		

- 注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
- 注2. 「大学が独自に設定する科目」として14単位の修得が必要となるが、同科目は4単位しか開設しないため、 【第2表】の科目及び「領域及び保育内容の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数で これを充たす必要がある。

「領域及び保育内容の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間 等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が51単位 以上必要

②P211 【第2表】「領域及び保育内容の指導法に関する科目」を除く科目(幼稚園一種免許状)

【誤】 【第2表】「領域及び保育内容の指導法に関する科目」を除く科目(幼稚園一種免許状)

【第2表】	「領域及び保育内容の指導法に関す	る科目		F状)	
	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	1	1.302	
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単化 必修	立数選択	修得方法等
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		保育原理(世界と日本の乳幼児教育) 教育原理(世界と日本の学校教育)	2	2	2単位必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論(幼・小)	2		2単位必修
教育の基礎的理解に関する科目	 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 	10	教育行政学(幼・小) 教育経営学(幼・小)		2	2単位 選択必修
解に関する科目	 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習 の過程 		乳幼児心理学 発達心理学(幼・小)	2	2	2単位必修
	・ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解		特別支援教育入門(幼・小)	1		1単位必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		乳幼児教育課程論	2		2単位必修
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の 活用を含む。)		乳幼児教育内容・方法論 初等教育方法学(情報通信技術の活用含む)	2	2	2単位必修
道徳、総合的な 学習の時間等の 指導法及び生徒 指導、教育相談	幼児理解の理論及び方法	4	乳幼児理解と教育相談	2		2単位必修
等に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生発・物・小) ・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・幼児理解の理論及び方法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談 2 ・教育相談 2 ・教育相談 2 ・教育相談 2 ・教育表法学(情報通信技術の活用含む) ・幼児理解の理論及び方法 3 ・教育者相談 2 ・教育表法学(情報通信技術の活用含む) ・幼児理解の理論及び方法 4 ・教育表法学(情報通信技術の活用含む) ・教育表表で表現の理論及び方法 3 ・教育を含む。)の理論及び方法 4 ・教育表法学(情報通信技術の活用含む) ・教育表別に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 3 ・教育表別に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 4 ・教育表別に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 4 ・教育表別に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 4 ・教育表別に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 4 ・教育表別に関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 4 ・教育表別で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で表現で	2				
教育実践に関す る科目	· 教育実習	5		1 -		1単位必修 4単位必修
	教職実践演習	2		2		2単位必修
大学が独自に設					2	
(免許		21				22

【正】 【第2表】「領域及び保育内容の指導法に関する科目」を除く科目(幼稚園一種免許状)

120 20 1	原域及0 水月11日か月日寺は12 円 7 371	H] C				
	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	必	立数選択	修得方法等
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び 思想		保育原理(世界と日本の乳幼児教育) 教育原理(世界と日本の学校教育)	2	2	2単位必修
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論(幼・小)	2		2単位必修
教育の基礎的 理解に関する	 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 	10	教育行政学(幼・小) 教育経営学(幼・小)		2	2単位 選択必修
科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学		乳幼児心理学	2		2単位必修
	習の課程		発達心理学 (幼・小)		2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び 生徒に対する理解		特別支援教育入門(幼・小)	1		1単位必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		乳幼児教育課程論	2		2単位必修
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材 の活用を含む。)		乳幼児教育内容・方法論 初等教育方法学(情報通信技術の活用含む)	2	2	2単位必修
道徳、総合的 な学習の時間 等の指導法及 び生徒指導、	・幼児理解の理論及び方法	4	乳幼児理解と教育相談	2		2単位必修
教育相談等に 関する科目	・ 教育相談 (カウンセリングに関する基礎 的な知識を含む。) の理論及び方法		初等学校教育相談		2	
教育実践に関 する科目	 教育実習 	5	初等教育事前,事後指導 初等教育実地研究	1 4		1単位必修 4単位必修
	 教職実践演習 	2	教職実践演習(幼・小)	2		2単位必修
			子どもの保健と健康	Ť	2	. ,
大学が独自に 設定する科目			<u>乳幼児と家庭</u> 子ども家庭支援論		1 1	
	合 計	21	合 計			22
(免許	法施行規則に定める最低修得単位数)		(本学での最低修得単位数)			

③P214 中学校教諭第一種免許状(英語)

【誤】

中学校教諭第一種免許状 (英語)

		語)		出力	立数		
	科 目 区 分	単位数	開設授業科目	単1 必修	選択	履修方法	
教			コミュニケーション表現論	219	2		
科	de control		音声コミュニケーション論	2			
に	英語学		言語構造論		2		
関			第二言語習得論	2			
す			越境文学論	2			
る	英語文学		アメリカ文化論		2	「教科に関する専門的	
専			イギリス社会文化論	2		事項」及び「各教科の 指導法(情報機器及び	
門			Academic Communication (英)	2		教材の活用を含 む。)」の選択科目か	
的	英語コミュニケーション	28	Academic Writing (英)	2		ら6単位選択必修	
事			English Presentation Skills		2		
項			越境文化形成論	2			
	異文化理解		比較政策論		2		
			越境社会文化論		2		
			英語科教育論A	2			
			英語科教育論B		2	٦ ا	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		英語科教育論C		2	6 単位選択	
			英語科教育論D		2	必修	
			英語科教育論E		2		

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。 <必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】 由兴林勒尔 (基本) (基本)

	<u> </u>	語)		当	立数		
	科 目 区 分	単位数	開設授業科目	必修	選択	履修方法	
教			コミュニケーション表現論	2.13	2		
科	44-4-7V		音声コミュニケーション論	2			
に	英語学		言語構造論		2		
関			第二言語習得論	2			
す			越境文学論	2			
る	英語文学		アメリカ文化論		2	「教科に関する専門的	
専			イギリス社会文化論	2		事項」及び「各教科の 指導法(情報機器及び	
門			Academic Communication (英)	2		教材の活用を含 む。)」の選択科目か	
的	英語コミュニケーション	28	Academic Writing (英)	2		ら6単位選択必修	
事			English Presentation Skills		2		
項			越境文化形成論	2			
	異文化理解		比較政策論		2		
			越境社会文化論		2		
			英語科教育論A	2			
			英語科教育論B		2	7	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		英語科教育論C		2	6 単位選択	
			英語科教育論D		2	必修	
			英語科教育論E		2		

注1. 単位数欄の必修・選択は数員免許取得のための必修・選択を示す。 注2. 「大学が独自に設定する科目」として4単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

③P215 高校教諭第一種免許状(英語)

【誤】

高等学校教諭第一種免許狀 (英語)

	<u>等子仪教訓弟一種兄計仏(</u> 科 目 区 分	単位数	開設授業科目		立数	履修方法
教	11 1 1 2 3	十匹奴		必修	選択	板砂カム
			コミュニケーション表現論		2	
科	英語学		音声コミュニケーション論	2		
に	央暗子		言語構造論		2	
関			第二言語習得論	2		
す			越境文学論	2		
る	英語文学		アメリカ文化論		2	「教科に関する専門 的事項」及び「各教
専			イギリス社会文化論	2		科の指導法 (情報機
門			Academic Communication (英)	2		器及び教材の活用を 含む。)」の選択科
的	英語コミュニケーション	24	Academic Writing (英)	2		目から6単位選択必 修
事			English Presentation Skills		2	
項			越境文化形成論	2		
	異文化理解		比較政策論		2	
			越境社会文化論		2	
			英語科教育論A	2		
			英語科教育論B		2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		英語科教育論C		2	2単位選択
	(BREEDENVIINCES)		英語科教育論D		2	必修
			英語科教育論E		2	

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】 高等学校教諭第一種免許状 (英語)

	科 目 区 分	単位数	開設授業科目		立数	履修方法
ter.	M D E 7/	平恒奴	州以汉来代口	必修	選択	腹形刀伝
教			コミュニケーション表現論		2	
科	英語学		音声コミュニケーション論	2		
E	央暗子		言語構造論		2	
関			第二言語習得論	2		
す			越境文学論	2		
る	英語文学		アメリカ文化論		2	「教科に関する専門 的事項」及び「各教
専			イギリス社会文化論	2		科の指導法(情報機
門			Academic Communication (英)	2		器及び教材の活用を 含む。)」の選択科
的	英語コミュニケーション	24	Academic Writing (英)	2		目から6単位選択必 修
事			English Presentation Skills		2	
項			越境文化形成論	2		
	異文化理解		比較政策論		2	
			越境社会文化論		2	
			英語科教育論A	2		
			英語科教育論B		2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		英語科教育論C		2	2単位選択
			英語科教育論D		2	必修
			英語科教育論E		2	

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。 注2. 「大学が独自に設定する科目」として12単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目 及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

⑤P222 中学校教諭第一種免許状(数学)

【誤】

中学校教諭第一種免許狀 (数学)

		 		377.7	1.387	1
	科目区分		開設授業科目	里位	立数	履修方法
	村 日 区 刀	単位数	用政权未行口	必修	選択	限1 8万伝
			数理科学入門(代数系)	2		
教	代 数 学		計算代数A		2	
科			計算代数B		2	
に			数理科学入門 (幾何系)	2		
関	幾 何 学		かたちの数理A		2	
す			かたちの数理B		2	「教科に関する専門的事
る	解析学	1	数理科学入門(解析系)	2		項」の選択科目から10単
専		28	環境モデル解析A		2	位選択必修
門			環境モデル解析B		2	
的	「夜枣炒 佐乳茂」		数理科学入門 (統計系)	2		1
事	「確率論,統計学」		数理的問題解決法		2	
項	コンピュータ		計算機科学入門	2		
	コンヒュータ		数理モデルプログラミング		2	
			数学科教育論A	2		
	各教科の指導法		数学科教育論B	2		
	(情報通信技術の活用を含む。)		数学科教育論C	2		
			数学科教育論D	2		

- 注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。 注2. 「大学が独自に設定する科目」として<u>4単位</u>の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目 及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導 法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】

中学校教諭第一種免許状 (数学)

	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		메르마스 누산 이	単位	立数	
	科 目 区 分	単位数	開設授業科目	必修	選択	履修方法
			数理科学入門(代数系)	2		
	代 数 学		計算代数A		2	
教			計算代数B		2	
科	幾 何 学		数理科学入門(幾何系)	2		
に			かたちの数理A		2	
関			かたちの数理B		2	
オ	解 析 学		数理科学入門 (解析系)	2		
る			環境モデル解析A		2	
専		28	環境モデル解析B		2	- 「教科に関する専門的事
門門		20	数理科学入門 (統計系)	2		項」の選択科目から10単
的	「確率論,統計学」		<u>データ解析 A</u>		<u>2</u> <u>2</u>	位選択必修
事			<u>データ解析 B</u>		<u>2</u>	
項	コンピュータ		計算機科学入門	2		
1.7	3763 7		数理モデルプログラミング		2	
	複合科目		数理的問題解決法		<u>2</u>	
	<u>後 日 村 日</u>		<u>数理科学基礎</u>		<u>2</u>	
			数学科教育論A	2		
	各教科の指導法		数学科教育論B	2		
	(情報通信技術の活用を含む。)		数学科教育論C	2		
			数学科教育論D	2		

- 注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。 注2. 「大学が独自に設定する科目」として<u>4単位</u>の修得が必要となるが,同科目は開設しないため,【第2表】の科目 及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導 法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

⑥P223 高等学校教諭第一種免許状(数学)

【誤】

高等学校教諭第一種免許状 (数学)

HJ	寸于汉狄朋尔 生儿口小 (×^ 1 /				
	科 目 区 分	単位数	開設授業科目	単位	拉数	履修方法
	村 日 区 万	甲世級	用政权来付日	必修	選択	腹 修 万 伝
			数理科学入門(代数系)	2		
教	代 数 学		計算代数A		2	
科			計算代数B		2	
に			数理科学入門 (幾何系)	2		
関	幾 何 学		かたちの数理A		2	「教科に関する専門的事
す			かたちの数理B		2	項」及び「各教科の指導
る			数理科学入門 (解析系)	2		法(情報機器及び教材の
専	解 析 学	24	環境モデル解析A		2	活用を含む。)」の選択
門			環境モデル解析B		2	科目から10単位選択必修
的	[pt = ti = 1		数理科学入門 (統計系)	2		
事	「確率論,統計学」		数理的問題解決法		2	
項	\		計算機科学入門	2		
	コンピュータ		数理モデルプログラミング		2	
	•		数学科教育論A	2		
	各教科の指導法		数学科教育論B		2	2単位
	(情報通信技術の活用を含む。)		数学科教育論C		2	選択必修
			数学科教育論D		2	

- 注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
- 注2. 「大学が独自に設定する科目」として12単位の修得が必要となるが、同科目は開設しないため、【第2表】の科目 及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導 法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】

高等学校教諭第一種免許状(数学)

	科目区分	単位数	開設授業科目	単位	立数	履修方法
	村 日 区 刀	毕证数	用政权条件日	必修	選択	腹 じ カ 伝
+//-	代 数 学		数理科学入門(代数系) 計算代数 A 計算代数 B	2	2 2	
教科に	幾何学		数理科学入門(幾何系) かたちの数理A かたちの数理B	2	2 2	
関する声	解析学		数理科学入門(解析系) 環境モデル解析 A 環境モデル解析 B	2	2 2	「教科に関する専門的事項」及び「各教科の指導法(情報機器及び教材の
専門的事	「確率論,統計学」	24	数理科学入門(統計系) <u>データ解析 A</u> <u>データ解析 B</u>	2	<u>2</u> <u>2</u>	「活用を含む。)」の選択 科目から10単位選択必修
項	コンピュータ		計算機科学入門 数理モデルプログラミング	2	2	
	複合科目		<u>数理的問題解決法</u> <u>数理科学基礎</u>		<u>2</u> <u>2</u>	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		数学科教育論 A 数学科教育論 B 数学科教育論 C 数学科教育論 D	2	2 2 2	2単位 選択必修

- 注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
- 注2. 「大学が独自に設定する科目」として<u>12単位</u>の修得が必要となるが,同科目は開設しないため,【第2表】の科目 及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導 法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

(7)P225 高等学校教諭第一種免許状(家庭)

【誤】

喜笔学校教諭第一種角許供 (家庭)

同等子仪教训另 俚允许认 (単位数		
科目区分		単位数	開設授業科目	必修	選択	履修方法
教科に関する	家庭経営学(家族関係学及び家庭経		ライフスタイル論A	2		
	済学を含む。)	24	ライフスタイル論B	2		
	被服学(被服製作実習を含む。)		衣環境論A	2		
			環境形成科学実験実習	2		「教科に関する専門
			衣環境論B		2	的事項の選択科目か
	食物学(栄養学、食品学及び調理実 習を含む。)		食環境論A	2		ら2単位選択必修
車の			食環境論B	2		
門			環境形成科学実験A		2	
的			環境形成科学実習	2		
事	住居学		住環境論	2		
項	比冶子		都市地域居住環境論		2	
	保育学(実習を含む。)		こども環境論	2		
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)			家庭科教育論A	2		
			家庭科教育論B	2		
			家庭科教育論C		2	
			家庭科教育論D		2	
大学が独自に設定する科目		•	アプライアンス環境論		2	
			生活環境調査法		1	

- 注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。
- 注2. 「大学が独自に設定する科目」として12単位の修得が必要となるが、同科目は3単位しか開設しないため、残りの9単位は【第2表】 の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

<必要合計単位数>

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」,「大学が独自に設定する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要

【正】

高等学校教諭第一種免許状 (家庭)

科 目 区 分		単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
				必修	選択	腹 修 方 缶
教科に関する	家庭経営学(家族関係学及び家庭経		ライフスタイル論A	2		
	済学を含む。)		ライフスタイル論B	2		
	被服学(被服製作実習を含む。)	24	衣環境論A	2		「教科に関する専門 的事項の選択科目か ら2単位選択必修
			環境形成科学実験実習	2		
			衣環境論B		2	
	食物学(栄養学、食品学及び調理実 習を含む。)		食環境論A	2		
車			食環境論B	2		
門門			環境形成科学実験A		2	
的			環境形成科学実習	2		
事	住居学		都市地域居住環境論	<u>2</u>		
項	<u> </u>		生活空間計画論		<u>2</u>	
	保育学(実習を含む。)		こども環境論	2		
			家庭科教育論A	2		
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)			家庭科教育論B	2		
			家庭科教育論C		2	
			家庭科教育論D		2	
大学が独自に設定する科目			アプライアンス環境論		2	
			生活環境調査法		1	

- 注1. 単位数欄の必修・選択は教員免許取得のための必修・選択を示す。 注2. 「大学が独自に設定する科目」として<u>12単位</u>の修得が必要となるが、同科目は3単位しか開設しないため、残りの9単位は【第2表】 の科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」で所定の単位を超えて修得した単位数でこれを充たす必要がある。

「教科及び教科の指導法に関する科目」,「教育の基礎的理解に関する科目」,「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」,「教育実践に関する科目」,「大学が独自に設定する科目」の修得単位数の合計が59単位以上必要